

漁況情報 No. 1

平成 24 年 7 月 10 日発行

岩手県水産技術センター漁業資源部 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/>

Tel:0193-26-7915 / Fax:0193-26-7910 / E-mail:CE0012@pref.iwate.jp

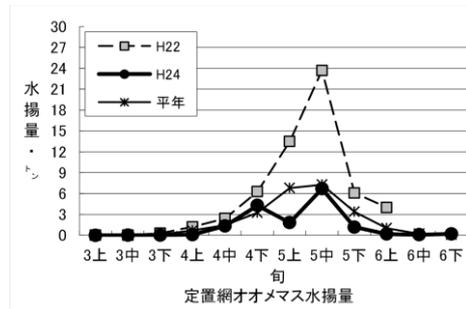
《トピックス(3月～6月)》

- ・ 定置網のブリはわらさ、ぶり主体で好調です。
- ・ 定置網のサバ類、スルメイカは低調で水揚げが遅れ気味です。
- ・ 底びき網のマダラは好調です。

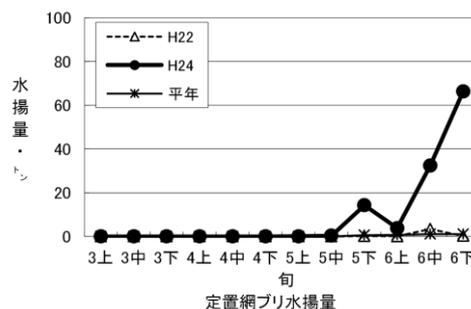
1. 水揚げ状況 (県内主要 5 港集計値)

3 月から 6 月までの県内主要 5 港 (久慈、宮古、山田、釜石、大船渡) における水揚げ状況をとりとまとめたのでお知らせします。

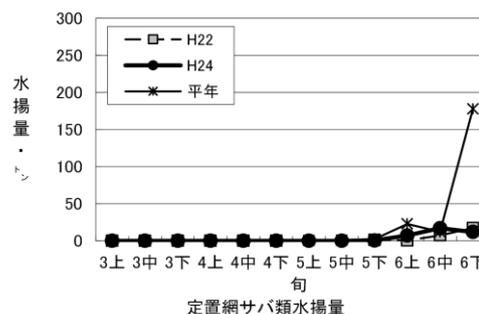
・ オオメマス (定置網) は、5 月中旬をピークとして 4 月中旬から 5 月下旬にかけて主に水揚げされ、6 月末までの水揚げ量の累計は前年比 27%、過去 10 年平均 (平成 13～22 年) 比 57% の 16 トンでした。



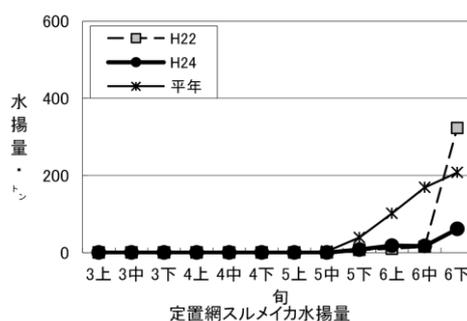
・ ブリ (定置網) は、5 月下旬から「ぶり」、 「わらさ」を主体として水揚げされ始め、水揚げ量は 6 月中旬以降増加しています。6 月末までの水揚げ量の累計は前年比 24 倍、過去 10 年平均比 11 倍の 117 トンでした。



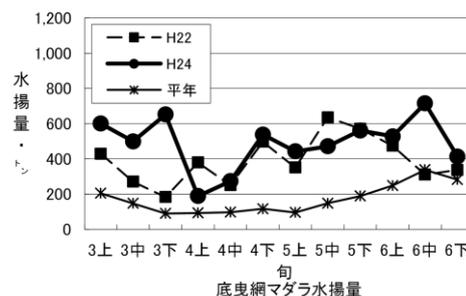
・ サバ類は、5 月下旬からゴマサバを主体に水揚げされ始め、水揚げ量は 6 月中旬に幾分増加したものの、低調で推移しています。6 月末までの水揚げ量の累計は前年比 1% 以下、過去 10 年平均比 11% の 37 トンにとどまっています。



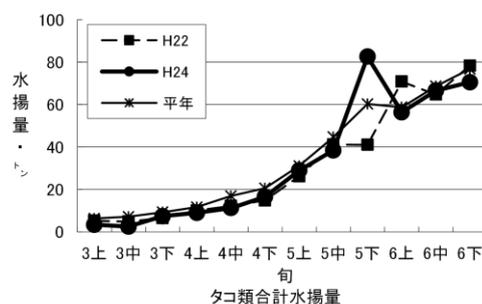
・スルメイカ（定置網）は、5月下旬から水揚げされ始め、水揚げ量は6月下旬に入り増加したものの、低調で推移しています。6月末までの水揚げ量の累計は前年比29%、過去10年平均比20%の104トンにとどまっています。



・マダラ（底びき網）は、3月と6月中旬をピークとして水揚げされ、6月末までの水揚げ量の累計は前年比1.3倍、過去10年平均比2.9倍の5,880トンでした。



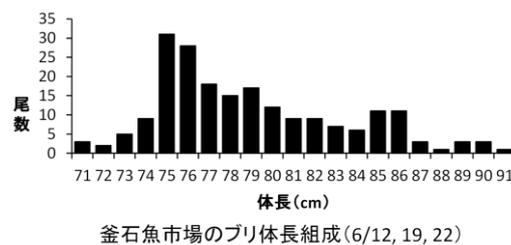
・タコ類（カゴ）は、4月から本格的に水揚げされ始め、水揚げ量は5月下旬以降増加して好調で推移しています。6月末までの水揚げ量の累計は前年比1.1倍、過去10年平均比95%の393トンでした。



2. 調査結果、その他情報

◎ブリ市場調査結果

6月12、19、22日の釜石魚市場におけるブリの体長組成を示します。水揚げ物は、体長75～76cmを主体とする「わらさ」と、体長85～86cmを主体とする「ぶり」で占められていました。



3. 調査船運航計画（7月）

- ・岩手丸：海洋観測（7/10～）、着底トロールによる海洋ゴミ分布調査（7/17～20）、スルメイカ漁場調査（7/23～26）
- ・北上丸：カゴ調査（7/9～12、7/23～25）、延縄調査（7/13）、仔稚魚・沿岸観測（7/17～18）、スルメイカ漁場調査（7/19～20、7/26～27）

漁況情報の本年度第1号です。7月上旬より毎旬発行します。

ご意見などは水産技術センター漁業資源部（担当：後藤、永井）までお寄せください。